

平成 26 年度ウレタン原料工業会会長 山中 孝夫



ウレタン原料工業会(JURA)の設立50周年、心よりお慶び申し上げます。

ホームページの「概要」では、「1965年(昭和40年)8月、ポリエーテルポリオール及びイソシアネートメーカー各社がポリウレタン産業の発展の為、用途開発に或いは技術の向上に一致協力し、ポリウレタン原料工業会の健全且つ安定した産業としての発展を目的

として設立されました。」と、記されています。

まさしくこの半世紀に亘り、我が国産業の発展の歴史とともに歩んできた50年であったと、振り返ってみるに相違ありません。

会員会社や社名の変遷を遡りましても、日本の石油化学産業の歴史とその構造変化に、歩調を合わせるように推移してきたことが窺えますし、近年では急速な市場のグローバル化に伴い、工業会の活動範囲も日本国内だけに留まることなく、日本ウレタン工業協会(JUII)の構成工業会としましても、海外の関連諸団体との交流も重要な役割のひとつとして捉えられるようになってきました。

半世紀に亘る歴史のなかで培われた環境や安全に対するウレタン原料工業会の取り組みは、日本国内だけではなく、とりわけ離陸からの発展スピードが増す近隣の途上国に対しては、その歴史の短縮手段として紹介されていくことも、これからの貢献課題であることに工業会として異論はありません。

また日本国内におきましては、政府指針にも沿い、今後「省エネ」に対するいっそうの貢献が工業会に求められていると確信しております。

資源を持たない我が国におけるエネルギー問題に関しては、その供給の議論の前にまず消費の削減に取り組むことが、既に企業のみならず国民にも幅広く浸透しています。

断熱材としてのポリウレタンに対する「省エネ」効果への期待は、工業会自らが発信し普及させていくべきテーマであると自覚し、その活動を開始したところです。

これまでのポリウレタン産業発展の過程における自衛的な活動から、これからは外へ向けての能動的な取り組みが、ちょうど50年という歴史の区切りとして、ウレタン原料工業会の新たな歴史の始まりであろうと心得る次第であります。

今後ともウレタン原料工業会に対しましての変わらぬご支援ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

平成 27 年 8 月 26 日